

「各種資産評価単価及びデフレーター(平成 19 年度(2007 年度)公表分～令和2年度(2020 年度)公表分)」における各種資産評価単価の訂正について

中部地方整備局
令和4年9月9日

- 中部地方整備局では、本委員会で、各事業の対応方針(案)について、ご審議をいただくとともに、別途、流域委員会で審議された河川事業・ダム事業の再評価について報告をさせていただいております。
- 今年2月に、令和3年度の事業評価に用いている令和2年各種資産評価単価の誤りが判明し、訂正後の単価を用いたB/Cの算出結果等を公表しました。
- その後、国土交通本省において、令和元年以前のデータについても改めて確認したところ、2007年（平成19年）～2019年（令和元年）においても誤りが判明し、令和4年8月1日に訂正の発表がされました。
https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/seisaku_hyouka/gaiyou/hyouka/pdf/20220801_Teisei.pdf
- 今回の発表を踏まえ、中部地方整備局といたしましては、訂正された各種資産評価単価を用いて過年度に実施した該当事業のB/Cの再算出を行い、その結果についてウェブサイトにて公表をする予定です。